

健診フォローアップ学ぶ

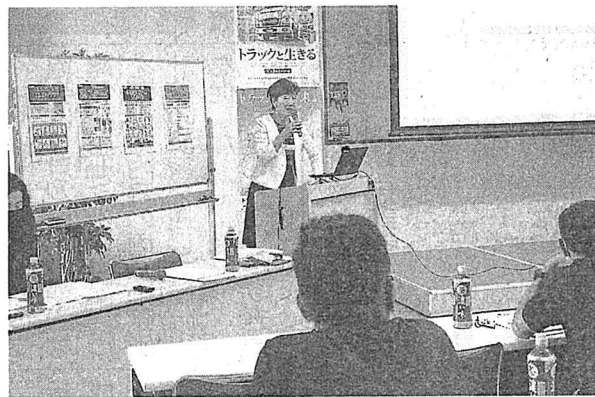
従業員定着&生産性向上

新ト協&全ト協

【新潟】新潟県トラック協会(小林和男会長)は9月22日、全日本トラック協会と健康管理セミナーを開いた。NPO法人(特定非営利活動法人)ヘルスケアネットワーク(OCHIS)の作本貞子副理事長らが、定期健康診断のフォローアップ手法などを説明した。適正化事業部付の斎藤朋夫部長が「ドライバーの高齢化もあり、健康対策は年々重要性を増している。適切な対応は、安全運転の確保はもとより、従業員の定着、生産性向上にもつながる。しっかり聴講し、今後

の業務に役立てて欲しい」とあいさつ。作本氏は「全国的には中止、またはリモートでの実施が多い中、一堂に会する形式はありがたい」と謝意

ではOCHIS保健師の黒田悦子氏が、全ト協の事業となる「運輸ヘルスケアナビシステム」を取り上げ、活用事例を紹介した。(河野元)



健康起因事故防止マニュアルの抑えるべきポイントを説くOCHISの作本副理事長

を示した。全ト協のホームページからダウンロードできる健康起因事故防止マニュアルの有効利用へ、抑えるべきポイントを説いた。

具体的な健診のフォローアップにつ